



ふわふわ言葉 ちくちく言葉

校長 神田 朋恵



天候の心配された運動会では多くの保護者・地域の皆様に御来校いただき、子どもたちに温かい声援と拍手を送ってくださいまして、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。また、校庭整備に御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。深謝いたします。本

日だけでなく、これまでの運動会に向けた取組について、ぜひ子どもたちの思いを聴いて受け止めていただき、たくさん褒めてあげてほしいと願っています。子どもたちが**達成感**や**満足感**を得られる、またとないチャンスです。学校では、学級・学年への**所属感**についても価値付けてまいります。

さて、6月の生活目標は「友達と仲よく過ごそう」です。全市立学校の「いじめ撲滅強化月間」でもあり、本校では「人権月間」でもあります。子どもたちには、友達とのトラブルはちょっとした思い違いや相手の行為を悪く受け取ることで起こりやすいこと、それを避けるためにも温かい、優しい言葉【ふわふわ言葉】を使うことを中心に、朝会で話をします。

ふわふわ言葉：相手の心を温かく包み、優しい気持ちにさせる言葉

ありがとう、ごめんね、よくがんばったね、いいね、すごい、大好きだよ など

ちくちく言葉：相手を傷つけたり、不快にさせたりするような言葉 自分を傷つける言葉

へんなの、なんでできないの、じゃま、うるさい、早くして、どうせ・・・ など

各学級・学年では、いじめ撲滅や友達となかよく過ごすことについて話し合ったり、具体的に活動したり、小イベントを行ったりしていきます。授業では、一人ひとりの目標や学習方法、学力に応じた「個別最適」な学びの展開や、最適解を導くために友達と協力・分担して課題を解決したり、ペアや小グループ、学級全体で対話を重ねたりしていく「協働的」な学びを実現し、学習の理解を深め、定着するように工夫していきます。懇談会時に説明させていただいたスクールダッシュボードも活用してまいります。

4月、5月とずっと走ってきた子どもたちと教職員ですが、6月は問題行動が起こる時期と言われています。今月は個人面談も予定されています。子どもたちを誰一人取り残すことなく、目を配り心を配りながら対応してまいります。何かお気づきの点、御心配の点がございましたら、どうぞお声を届けていただけますよう、お願い申し上げます。今年度、地域の方からのお声がけをきっかけにトラブルが解消されたことがございました。それぞれの立場から、一緒に、子どもたちのよりよい成長に向けて連携できれば、これほど心強いことはないと感じています。

最後に、6月9日は開校記念日です。創立52周年になります。本校にお力添えいただいている地域・保護者の皆様に感謝申し上げますとともに、笑顔、挨拶がもっとステキな学校になりますよう、尽力してまいります。今月もよろしくお願いいたします。